

資料 17

世界銀行 「世界銀行業務におけるジェンダーの統合 行動のための戦略
(Integrating Gender into the World Bank's Work: A strategy for Action)」
2002年(平成14年)(主なポイント)

1980年代以降、特に教育及び保健の分野において男女共同参画に係る課題に取り組んできたが、貧困削減においてより組織的に、また、広範囲に男女共同参画に係る課題に取り組むことにより援助効果を向上させられるとの認識から、2002年(平成14年)には「世界銀行業務におけるジェンダーの統合 行動のための戦略 (Integrating Gender into the World Bank's Work: A strategy for Action)」(以下「行動のための戦略」という。)を策定した。行動のための戦略は、以下の三つの基本的なプロセス及び四つの行動から成る。

1 基本的なプロセス

(1) ジェンダー評価の実施

すべての援助分野について国別ジェンダー評価を定期的を実施し、ジェンダー課題を把握し、ジェンダーに配慮した行動を策定し、国別支援プログラムに組み入れる。

(2) 具体的な支援内容の計画及び実施

ジェンダー評価に基づいて、具体的支援内容を計画し、及び実施する。

(3) モニタリングの実施

具体的な支援の実施状況及び効果についてモニタリングを実施する。

2 行動

(1) 分析・融資方法へのジェンダーの側面の取り入れ

セクター別分析、社会的影響分析及び貧困削減戦略ペーパーによる貧困削減を評価する基準等にジェンダーの側面を取り入れる。

(2) 業務遂行へのジェンダー課題の戦略的な取り入れに対する支援

ジェンダーと開発 (Gender and Development。以下「GAD」という。)に関する研修の実施、適切な調査手法等の開発、良い事例の収集及び情報の普及等を行う。

(3) 個々の戦略に必要な予算及び技術的な支援

ジェンダー分析及びジェンダー主流化を支援するための予算、ジェンダー課題を取り入れた職員の職務及び責任の明確化、海外事務所における GAD 専門家の所内への配置、被援助国政府、援助国及び他の国際機関等との連携等を行う。

(4) モニタリングと評価の実施

行動のための戦略の実施状況の把握及び質の向上のために、効果的なモニタリング及び評価システムを現在策定中である。モニタリングは毎年実施し、また、効果の定着状況についてはある程度期間を置いて実施する予定である。